

まちの資産をみてみよう

【表3】バランスシートを市民1人あたりに換算すると

区分	基準日	人口 (a)	資産 (b)	負債 (c)	正味財産 (d)	市民1人あたり		
						資産 (b/a)	負債 (c/a)	正味財産 (d/a)
普通会計	平成12年度末	55,077人	621億円	319億円	302億円	112.7万円	57.8万円	54.9万円
	平成13年度末	54,673人	631億円	329億円	302億円	115.3万円	60.1万円	55.2万円
連結			972億円	567億円	405億円	177.7万円	103.6万円	74.1万円

【表4】平成14年度各会計予算執行状況(平成14年9月30日現在)

会計名	当初予算額	補正額	現行予算額	歳入		歳出		
				収入済額	収入率(%)	支出済額	執行率(%)	
一般会計	223億5,000万円	2億6,786万円	226億1,786万円	91億6,412万円	40.5	81億7,811万円	36.2	
国民健康保険	49億1,480万円	861万円	49億2,341万円	16億6,099万円	33.7	19億7,751万円	38.7	
学校給食事業	3億7,720万円	-	3億7,720万円	7,925万円	21.0	1億5,715万円	41.7	
公共下水道事業	35億2,980万円	3億3,740万円	38億6,720万円	4億3,544万円	11.3	14億7,621万円	38.2	
老人保健	65億3,860万円	-	65億3,860万円	26億2,333万円	40.1	27億2,550万円	41.7	
簡易水道事業	3,260万円	-	3,260万円	270万円	8.3	452万円	13.9	
介護保険	保険事業勘定	23億6,450万円	3,872万円	24億3,322万円	8億2,645万円	34.4	8億9,560万円	37.3
	介護サービス事業勘定	50万円	-	50万円	10万円	20.0	-	0.0
計	401億8,000万円	6億5,259万円	407億6,059万円	147億9,238万円	36.3	153億4,460万円	37.6	

ちよつと難しい  
財用語

1 国・道支出金：国や道が奨励する事業や共同の責任で行う事業などについて、負担割合に同じ、国や道が交付するもの。

2 地方交付税：所得税や法人税、酒税など国税の一定割合を総額とし、地方公共団体が等しく合理的かつ妥当な水準で自主的にその事務を遂行し、財産を管理することができるよう定められた基準により国が交付する税。

3 減価償却：使用や時の経過などで生じる経済価値の減少分を見積り、資産としての価値を減額する手続き。

4 普通会計：個々の地方公共団体に各会計の範囲が異なっているなど、財政比較が困難なため、地方財政統計上の統一のルールに基づいて組み直した会計区分。登別市の場合、一般会計と学校給食事業特別会計が該当します。

5 北海道市町村備荒資金組合：道内の市町村が災害による減収の補てんなどし、災害応急復旧事業などの費用に充て

るため積み立てを行い、それを管理するための団体です。一定額(普通納付金)を超えて納付した場合、超過納付金となり、その部分は使途が災害などに限定されません。

6 不納欠損額：本来、徴収すべきものが、時効など法令などに根拠のある理由により、徴収ができないと認定されたもの。

7 臨時財政対策債：地方財政の赤字補てんのため、地方交付税特別会計で借金をしていましたが、この方式では、地方公共団体や住民に借金の実態が分かりづらく、また国の予算でも、その財政実態が分かりづらいことから、平成13年度では赤字の一部を各地方公共団体の判断で、地方債を借り入れて対応することになりました。これが臨時財政対策債ですが、その元利償還金は後年度、普通交付税で交付されることとなっています。

市の財政に関する  
問い合わせは

財政課

☎ 85 1 3 3 1

FAX 85 1 1 0 8